

2019 春ふおとコンテスト 審査結果

主催: 全日本写真連盟広島県本部
応募者数: 46 人 応募点数: 181 点
審査・講評: 山中健次(関西本部委員長)

推薦



「輝く雪桜」

荒川洋子(広島市・佐伯支部)

満開の桜花に雪が降り積もったのでしょうか。枝の先々に着いた雪が淡く、赤っぽい光の中で綺麗に咲いています。幻想的で暖かな風景になりました。

特選



「やんちゃ」

田中則子(広島市・広島タウン支部)

制服、ストッキング、靴など、全てが新しい1年生。家族が記念撮影しているところに前歯の抜けた男子が女子の肩に触れてニコニコ。やんちゃ坊主が可愛い。



「白い竜」

辻 良子(広島市・フォトプラス支部)

左下に形の良い桜の木が一本、その桜の後ろから雲でしょうか、右上向いて竜のように舞っています。アニメの世界に出てくるようなシーンです。

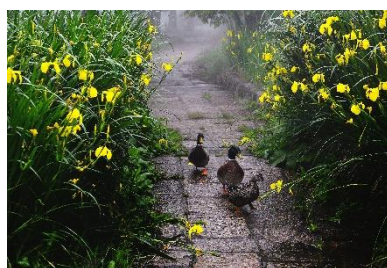
準特選



「収穫の日」

奥本泰久(東広島市・東広島支部)

海をバックに、夫婦でジャガイモの収穫をしているようで開放感のある光景です。太陽と水の恵みをいただいて、美味しいジャガイモができたことでしょう。



「散歩道」

田中利弘(呉市・呉支部)

黄色い花が咲く公園内の細い道を歩く3羽の鴨。霧の中をウロウロしながら歩いているようです。長閑な風情が漂っています。



「ポピーと星」

原田今朝弘(広島市・デジタル支部)

下部にポピーを配し、上部に北極星を中心に星の光跡を大きく入れています。こいのぼりも幾つかあるようです。肉眼では見られない不思議な光景です。

入選 (都道府縣市・支部)



「街の春」安田慶子
(東広島市・広島タウン支部)



「朝日に煌く」
道下久登
(広島市・フォトシャッセ支部)



「湖上の虹」
柿田信子(呉市・呉支部)



「春の目覚め」
諸富 誠(広島市・佐伯支部)



「ひみつの花園」
森藤勝弘
(広島市・一般)



「枝比べ」
中川満寿男
(広島市・広島タウン支部)



「春の詩」
此本健一郎(呉市・呉支部)



「ピーマン植えた」
澤田 昇(三次市・三次支部)



「差し出す手」
三本誠男
(三次市・三次支部)



「畑仕事」
白神佐代子
(玉野市・岡山県本部玉野支部)